

Q&A

一般質問



さんじょう まさつぐ
山条 真嗣 議員

自民党市政会



認知症の方と家族への 一体的支援事業の推進を

Q 厚生労働省は、認知症の方とその家族が共に活動・交流する場を一体的に支援する市町村認知症施策総合推進事業への補助を行おうとしているが、本市の取組はどのようなになっているか。

A 国が示す事業の概要では、実施場所の例として、認知症カフェや地域包括支援センターなどの既存施設等の活用が挙げられています。
本市では、認知症の方やその家族が、専門職への相談や地域住民と交流することができる場所として市内9カ所に「認知症カフェ」さかいでオレンジカフェ」を開設しており、今後は、さらに、認知症の方やその家族との交流や活動を通じ、思いを共有できる場となるよう支援していきたいと考えています。

(健康福祉部長)

ランドセル症候群の改善を

Q 小中学校のランドセル症候群の改善として携行品に係る配慮についての通達が文部科学省から各都道府県に出されているが、本市では各学校・学級に対してそうした配慮が行き届いているか。

A ランドセル症候群を回避するためには、登下校時の携行品について、発達段階に応じた配慮が必要であると捉えています。本市教育委員会では、文部科学省の通知を受け、教材や学習用具の持ち帰りについて、日常的にかつ学期始めや期末における配慮や工夫を行うよう小中学校に周知しています。
小中学校とも日常の教科書の持ち帰りをできる限り減らすとともに、絵の具や習字道具などは持ち帰りをしないなど、対応が進められています。

(教育長)

質問の主な項目

- ・ 公民連携の取組について
- ・ 職員の福利厚生について

など



わかすぎ てるひさ
若杉 輝久 議員

公明党議員会



農業残渣の適切な処理方法は

Q 金時いもなどの収穫後には蔓などの農業残渣が発生しており、生産者側で処理に尽力しても、周囲に異臭等が発生するケースも見られている。市としてはどのような処理すべきと考えるか。

A 農業残渣の処理方法としては、生産者が収穫後、堆肥化した後、耕作地にすき込んでほ場に還元することが、最も望ましい方法であると考えています。
しかし、本市では、生産者が堆肥化させる過程で、環境保全、衛生面において、地域住民からの苦情も受けています。

金時いもは本市の特産物であることから、市としても、早期に、堆肥化に必要な期間の一時仮置き場としての代替地が確保できるようにJA香川県と協力しつつ、抜本的な解決方法などについても先進事例を参考に、調査・研究をしていきます。

(市長)

保育園等での紙おむつ処分を

Q 保育園等に真空パックの機器を導入し、使用済み紙おむつを保管、処分している自治体もあるが、本市でも園側にて処分できないか伺う。

A 使用済みの紙おむつについては、複数の保護者から「園での処分をお願いしたい」など、様々な意見や要望があることから、公立・私立の保育所・こども園において、適切に処分できるよう、保管方法・運搬方法・廃棄方法・廃棄に要する費用などを試算・検討し、「子育てしやすいまちづくり」実現のため、一括廃棄に向けた制度設計を早急に行い、できるだけ早く要望に応えたいと考えています。

(市長)

